

私にとっての構造デザイン

—「建築 x 構造のおもしろさを語る会」 in 沖縄を開催しました。

■日 時：2024年9月12日（木） 14:30～18:30

■場 所：那覇文化芸術劇場「なはーと小劇場」

■講演会

第一部 講演会 講師：斎藤公男

演題：「構想から建設へ—空間と構造の交差点」

第二部 座談会 斎藤公男・多田脩二・与那嶺仁志・会場

テーマ：「構造デザインの諸相をめぐって」

コーディネータ：今林光秀（JSCA九州支部長）

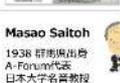
本講演会はドーム模型やパネルの展示も同時に行う、これまでに無い趣向で行いました。展示物への感想や質問は事前に配布した付箋紙に記入して座談会で取り上げるなど、会場が一体となったイベントとなりました。その様子を写真でご覧ください。

私にとっての構造デザイン-「建築x構造のおもしろさを語る会」 in 沖縄		
プログラム		
令和6年9月12日 那覇文化芸術劇場なはーと小劇場 総合司会 上原利公		
13:00 ~ 14:30	受付・開場	パネル展示会、受付スタート(30分前開始) 80分
【開演】		
14:30 ~ 14:35	開会あいさつ	JSCA沖縄地区代表幹事 奥原 毅 5分
【第一部】140分		
14:35 ~ 16:15	講演会	斎藤公男氏 「構想から建設へ—空間と構造の交差点」 質疑応答(15分)の時間あり 95分
16:15 ~ 16:50	パネル「パネル・ブチワマ」	パネル監製(北原からの「パネル監製」) 75分
16:50 ~ 17:00	休憩	休憩及び 講演会参加者へ贈り物(資料を)配布 10分
【第二部】80分 コーディネータ 今林光秀 (JSCA九州支部長)		
17:00 ~ 17:04	講師紹介	今林光秀氏による 4分
17:04 ~ 17:11	講師作品紹介	多田脩二氏 7分
17:11 ~ 17:28	講師作品紹介	与那嶺仁志氏 17分
17:28 ~ 18:20	座談会 パネルディスカッション	司会：今林光秀 講師：斎藤公男・多田脩二・与那嶺仁志 会場：那覇市 「構造デザインの諸相をめぐって」 62分
18:20 ~ 18:22	閉会宣言	総合司会 上原利公 2分
【お願い】 本講演会ではパネル展示を行っています。 パネルを二重になつた二重窓(窓窓)や二重窓(窓窓)や二重窓(窓窓)など、 また、パネルに記入いただいた感想や質問は、座談会に活用させていただきます。 記入方法は、会場(13:00)から開演(14:30)まで、またはパネル・ブチワマ(16:15)まで、お手持帰りして(17:00)までの間にお願いします。 いただいた感想は、第二部のディスカッションの議題として活用させていただきます。興味のある方は、会場(16:15)の二重窓(窓窓)資料を配布させていただきます。		

◆配布プログラム(表)

私にとっての構造デザイン in 沖縄2024 (9/12) 「構想から建設へ—空間と構造の交差点」

斎藤公男

0. はじめに—3つの Key Word		
▷ 構造デザインとは何か ▷ 想像から構想へ ▷ 空間と構造		
1. 1960年頃のできごと		
▷ 構造デザインの礎 ▷ 坪井研究室で学んだこと —B,フラア/バタヤ木/下僕		
2. 張弦梁 (BSS) は どこから生まれたか		
▷ 「アカテホール」 (Hop) 1978 ▷ 「理工大ホール」 (Stop) 1985 ▷ 「グランド・ドーム」 (Jump) 1990		
3. 合理的で美しいBSSの世界		
▷ 複合式張弦梁 —「藤田/1扉戸」 ▷ 様々なProjects (LSS) —スカー/形態/素材		
4. B,フラアからの脱出		
▷ TENSEGRITYからテンセグリティ構造へ ▷ テンセグリティ・フレーム ▷ テンセグリティ・トラス (3つのType)		
5. ホリスティック・デザインをめざして		
▷ 「山口屋からドーム」2001 ▷ 「有明体育館改修」2019		
6. 結 - 感性と技術とAIと		
▷ 感性と合理性 ▷ 人間力とコンピューター (IT)		

Masao Saitoh
1938 群馬県出身
A-Forum代表
日本大学名誉教授
日本建築学会会長 (第50代)

◆配布プログラム(裏)

◆受付風景

受付横では NHK 放送「すこぶるアガるビル_国立代々木競技場」の映像も・・・



◆講演会スタート

2階席も埋まる、参加者約 200 名の大盛況でした。(一般約 140 名、学生約 50 名、官公庁 10 名)

特に意匠設計者の参加が多い(下記 35.1%)

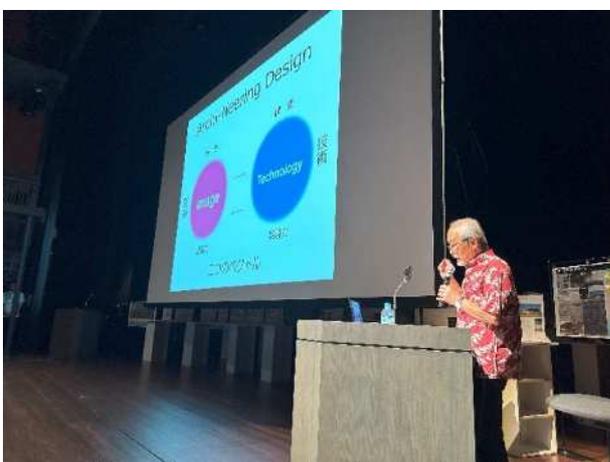


◆第一部 斎藤先生の講演

身に染みる言葉が沢山ありました。

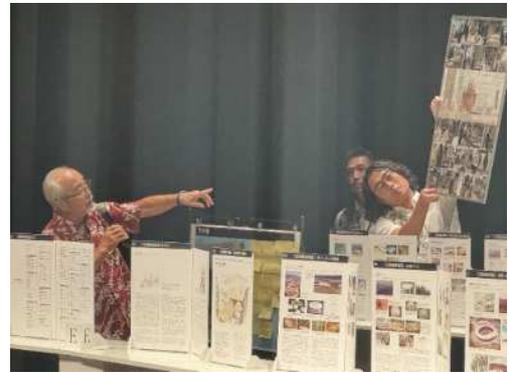
その一部を紹介します（今林支部長のメモから）

- 構造デザイン→構造設計+ α を目指して
「昨日より今日へ、今日より明日へチャレンジ」日々の積み重ねである。
「安全だけでなく、魅力的な空間をつくる」思いを大切に構造デザイン
- 「創造と構想」発送を具現化、どのように造るかまで考える、空間を構成するのは構造
- 建築と構造は空間でつながっている→建築家との共有が大切
- 構造デザインは織物、縦糸（技術）と横糸（感性）の融合
- アイデアの歴史をたどると先人に学ぶ事は多い→自分としての+ α
- 構造の原理はシンプルなもの、そこから多様性がある。
- ポリステックデザインから+ α をつくる
- 芸術と技術の融合から「凜とした日本らしさ」の空間メッセージ（有明）
- 構造がもっと建築や社会に対して責任を持ち発信しなければならない
- 「美は合理性の近傍にある（坪井先生）」→「合理性の近傍には美しさがある（斎藤先生）」



◆パネル・プチ・ツアー

講演会会場で、ツアーなんて初めてです。



◆多田脩二さん 構造に目覚めたきっかけ+作品紹介



◆与那嶺仁志さん 構造に目覚めたきっかけ+作品紹介



この豪華お二人の持ち時間は7分/人でした。

実際は倍の15分位喋っていましたけど、時間無くてすみマセン

◆座談会

今林支部長の仕切りですごく有意義な会になりました。

支部長の司会は天下一品です。(無料出演ありがとうございました)



◆座談会では付箋紙に記入された質問・感想も取り上げ会場が一体となりました。



◆講演会終了

参加の皆様 ありがとうございました。



斎藤先生主催の A-forum より講演会の動画が公開されています。

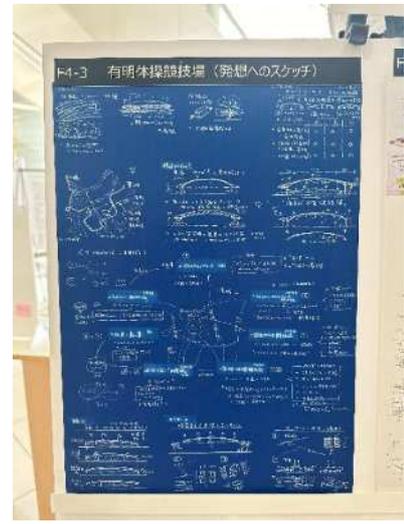
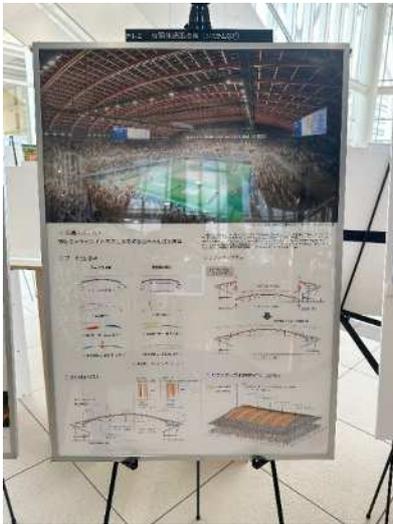
<https://youtu.be/4u2PC4RmN8M>

◆番外編

関連企画として、講演会の1週間前から「パネルで見る構造デザインのプロセス」と題した展示会も実施しました。番外編ではパネル展から講演会までの準備の様子を御覧ください。



◆パネルの一部



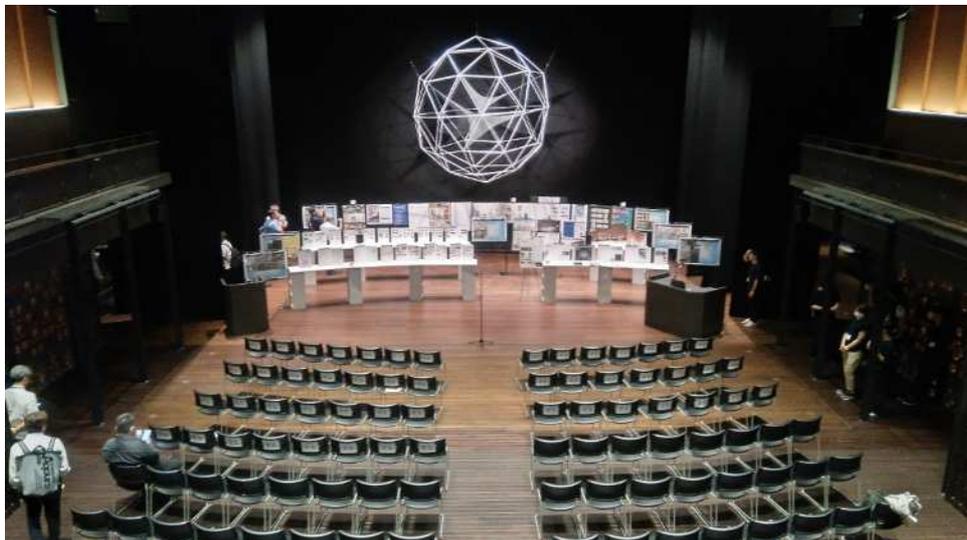
◆建築模型や首里城復元資料も展示



◆首里城正殿令和の復元



◆講演会当日 なは一と小劇場 準備風景



◆講演会当日 斎藤先生到着



■斎藤先生 会場に満足気



■始まる前に記念撮影

◆講演会打ち上げ



◆Grazie



私にとっての構造デザイン

—「建築 × 構造のおもしろさを語る会」in 沖縄

第一部 講演会「構想から建設へ—空間と構造の交差点」 斎藤公男

第二部 座談会「構造デザインの讀相をめぐって」 斎藤公男・多田裕二・与那領仁志

日期：令和6年9月12日（木）14:30～17:30（開場 13:30）

会場：那覇文化芸術劇場「ははーと小劇場」

〒800-0015 沖縄県那覇市久米町3-26-77

主催：（一社）建築構造技術者協会（ASCA）沖縄地区会

共催：（株）国建

後援：（公社）沖縄県建築士会、（公社）日本建築業協会 沖縄支部

（一社）沖縄県建築工事師会

参加費：無料 建築 CPD 対象講演会

参加申し込み：https://forms.gle/tD5y7JUAWNgmKqmbA

関連企画「パネルで見る構造デザインのプロセス」

会期：令和6年9月4日（水）～9月9日（月）

開催時間：10:00～20:00

会場：タワー18階2号（沖縄県立図書館）

〒900-0021 那覇市那覇市原1-20-1

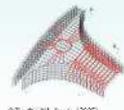
※9月12日も「ははーと小劇場」にてパネル展示あり



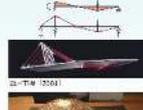
琉球新病院（2014）



沖縄県庁舎（2020）



赤松ビル（2007）



赤松ビル（2004）



琉球新病院（2014）



琉球新病院（2014）



琉球新病院（2014）



琉球新病院（2014）



斎藤 公男（あいつと ともお） 1938年 群馬県牛久保、1961年 日本大学理工学部建築学科卒業、1963年 日本大学大学院修士、1991年 同大教授、2007年 日本建築学会会長（第50代）、2008年 日本大学名誉教授、2014年 A-Forum 代表 役員・会長

多田 裕二（たごしゆじ） 1949年 東京都生まれ、1993年 日本大学理工学部建築学科卒業、1995年 日本大学大学院修士、1995年 同大教授、2004年 多田裕二建築設計事務所設立、2012年 工業1号大卒教授、2022年 同大教授 現職に在る

与那領 仁志（よなねの ひとし） 1970年 愛知県生まれ、1994年 日本大学理工学部建築学科卒業、構造中心プロセス・プラン 1998年 Arup 専攻業務所（2004-07 現同人社）、2022年～長崎県立大学専任教授 現職に在る